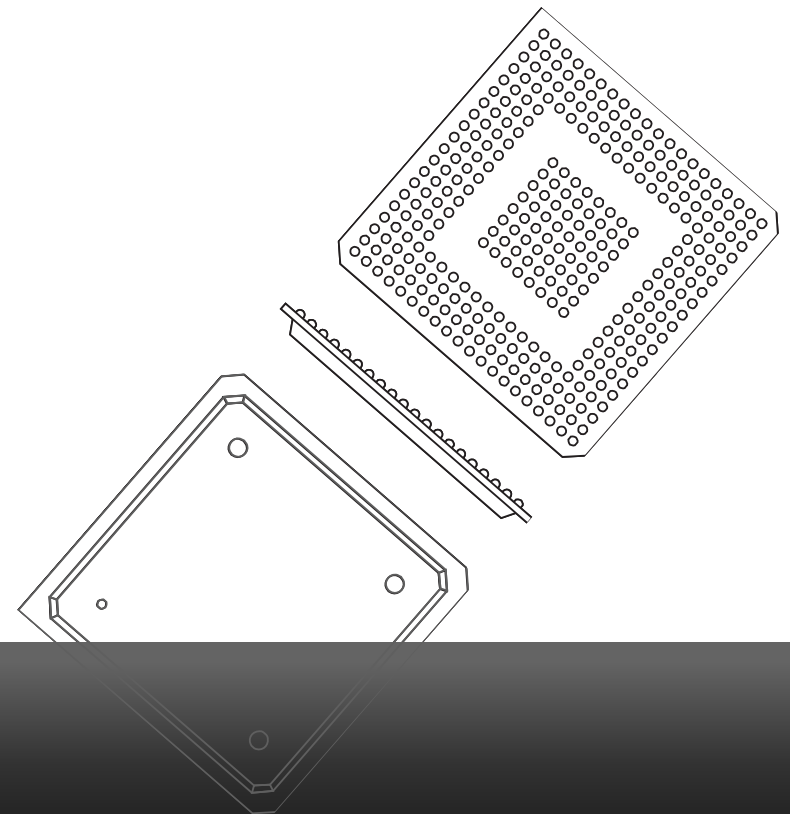


証券コード**6730**

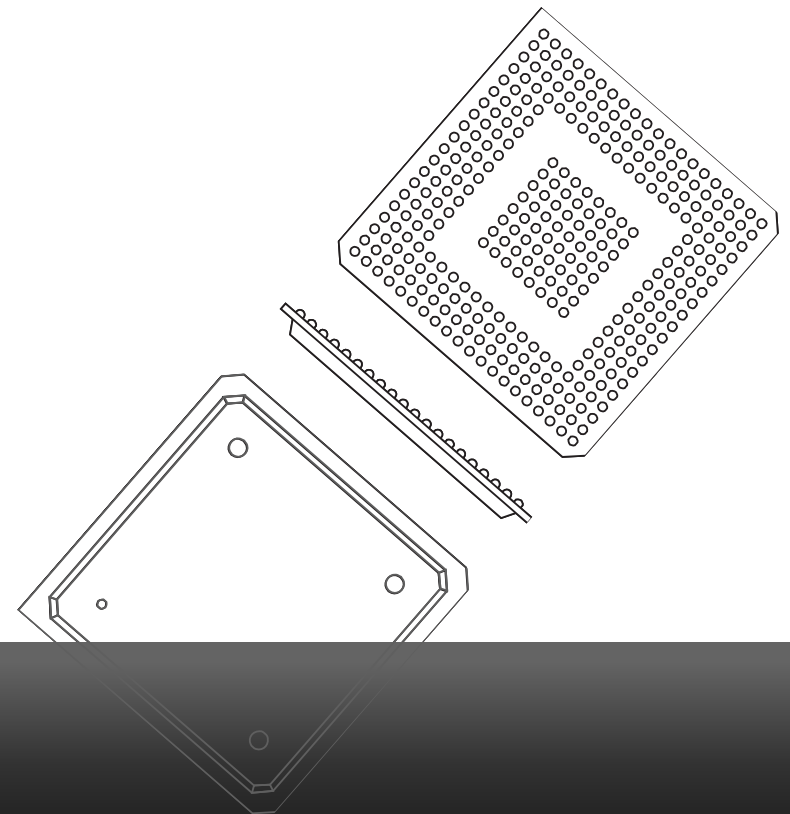
株式会社アクセル
2016年3月期（第21期）決算説明会資料

2016年4月26日（決算発表日：4月25日）

代表取締役社長 松浦 一教



1. 2016年3月期の業績



「のめり込み防止」に向けた自主規制等の状況

パチンコ機

- 2015.11 MAXタイプ規制（大当たり確率の上限引き下げ）
- 2015.12 パチンコ機盤面の釘調整と取締強化（対象機は暫時撤去の方針）
- 2016.05 伊勢志摩サミット開催を受けた新台入替自主規制（1か月程度）
- 2016.05 確率変動継続率65%に上限設定実施
- 2016.12 新基準に適合しない遊技機設置比率30%以内に設定

パチスロ機

- 2015.12 出玉管理をメイン基板制御（新基準）に一本化
- 2016.05 伊勢志摩サミット開催を受けた新台入替自主規制（1か月程度）
- 2016.07 旧基準機の新台販売打ち切り
- 2016.12 新基準に適合しない遊技機設置比率50%以内に設定

(単位：百万円)

	'15/3 実績	売上比	'16/3 実績	売上比	増減額	増減率
売上高	11,073	100%	8,982	100%	△2,091	△19%
売上原価	6,342	57%	4,880	54%	△1,461	△23%
売上総利益	4,731	43%	4,101	46%	△629	△13%
販管費 (研究開発費)	3,086 (1,948)	28% (18%)	3,857 (2,807)	43% (31%)	771 (858)	25% (44%)
営業利益	1,645	15%	244	3%	△1,401	△85%
経常利益	1,659	15%	220	2%	△1,438	△87%
当期純利益	1,115	10%	113	1%	△1,001	△90%

市場分析

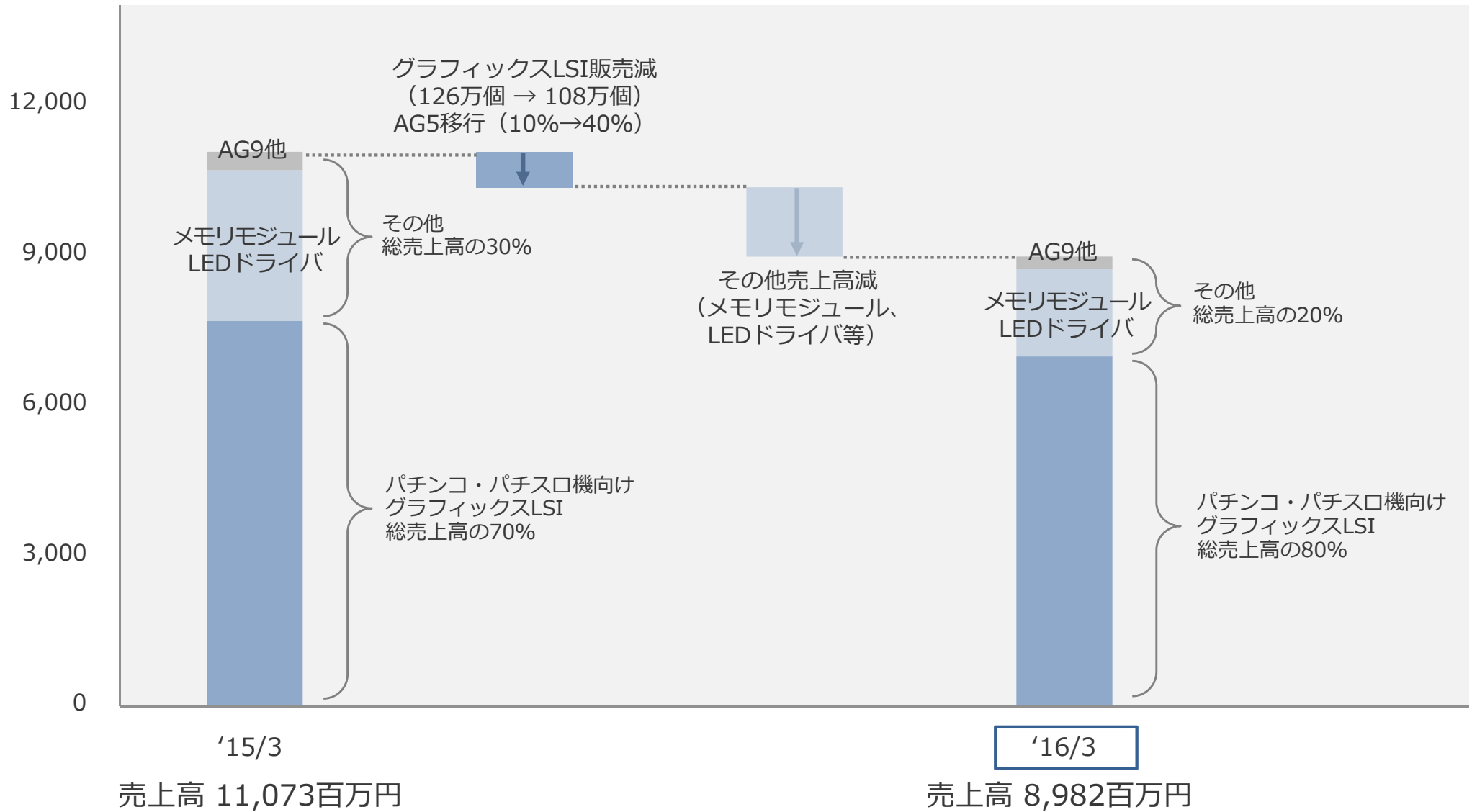
市場規模	310万台		290万台			
リユースの影響	約32%		約26%			
G-LSI个数	126万個		108万個			

※ 市場規模（パチンコ・パチスロ機の年間販売台数）、リユースの影響は当社分析による推定値です。

※ G-LSIはパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIを意味する。

売上高 8,982百万円（対前期比 2,091百万円減）

（単位：百万円）



(単位：百万円)

	'15/3	構成比	'16/3	構成比
流動資産	13,689	94%	11,061	91%
現金・預金	8,500	58%	8,063	66%
有価証券	2,999	21%	-	-
売掛金	550	4%	465	4%
商品及び製品	1,483	10%	2,000	16%
その他	154	1%	532	4%
固定資産	872	6%	1,095	9%
資産合計	14,562	100%	12,156	100%
流動負債	969	7%	843	7%
固定負債	35	0%	56	0%
負債合計	1,005	7%	900	7%
純資産合計	13,556	93%	11,256	93%
負債・純資産合計	14,562	100%	12,156	100%

現金同等物の減少は次シート、
キャッシュ・フロー計算書を参照

グラフィックスLSI, メモリモジュール製品
の在庫増加

流動負債	'15/3	'16/3
買掛金	170	681
未払金	393	129
未払法人税等	137	-
未払消費税等	152	-
その他	116	32

(単位：百万円)

	'15/3 実績	'16/3 実績
現金及び現金同等物の期首残高	9,853	11,500
現金及び現金同等物増加（△減少）額	1,647	△3,437
営業キャッシュ・フロー	2,597	△704
投資キャッシュ・フロー	△264	△303
財務キャッシュ・フロー	△685	△2,429
現金及び現金同等物の期末残高	11,500	8,063

営業キャッシュ・フロー

税引前純利益：178百万円
 減価償却費の計上：155百万円
 仕入債務の増加：510百万円
 たな卸資産の増加：△516百万円
 その他流動資産の増加：△320百万円
 その他流動負債の減少：△359百万円
 未払消費税等の減少：△239百万円
 法人税の等の支払：△271百万円

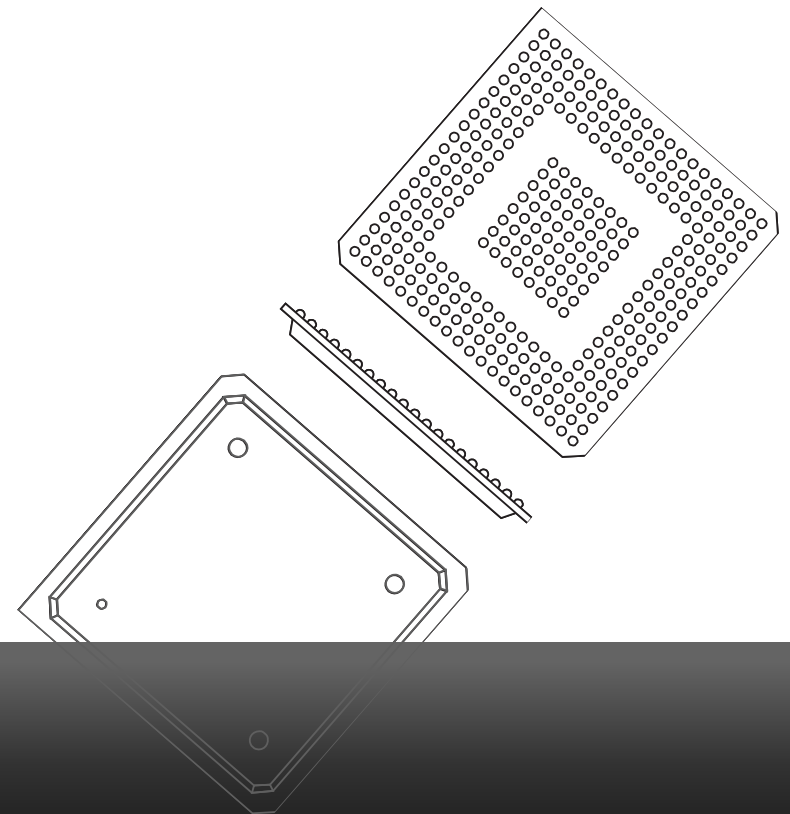
投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得：165百万円
 投資有価証券の取得：75百万円

財務キャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出：2,000百万円
 配当金の支払：428百万円

2. 2017年3月期の業績計画



パチンコ・パチスロ機市場の動向と業績計画の概要

- 2017年3月期のパチンコ・パチスロ機の販売台数は、250万台と想定し業績予想を計画
 - パチンコ機の「のめり込み防止」に向けた自主規制の影響継続（2015年11月）
 - パチスロ機の型式試験の運用変更（2014年9月）及び自主規制（2015年12月）の影響継続
 - 2016年5月の伊勢志摩サミット開催による新台設置自主規制の影響（特に上期に影響）
- 2017年3月期の業績計画の概要
 - 売上高増収、売上総利益はほぼ横ばい
 - パチンコ・パチスロ機市場は縮小を見込む（各種規制や新台設置自主規制の影響）
 - グラフィックスLSIの販売個数は減少見込み（108万個 → 96万個）
 - メモリモジュールは汎用製品化で大幅な販売増を計画
 - 売上総利益率は製品MIXにより低下
 - 販管費は3,700百万円で前期比微減の見通し
 - AG6の開発費が中心

（単位：百万円）

	'16/3 実績	売上比	'17/3 計画	売上比	増減額	増減率
売上高	8,982	100%	10,000	100%	1,017	11%
売上原価	4,880	54%	6,000	60%	1,119	23%
売上総利益	4,101	46%	4,000	40%	△101	△2%
販管費 （研究開発費）	3,857 (2,807)	43% (31%)	3,700 (2,800)	37% (28%)	△157 (△7)	△4% (△0%)
営業利益	244	3%	300	3%	55	23%
経常利益	220	2%	300	3%	79	36%
当期純利益	113	1%	200	2%	86	76%

市場分析

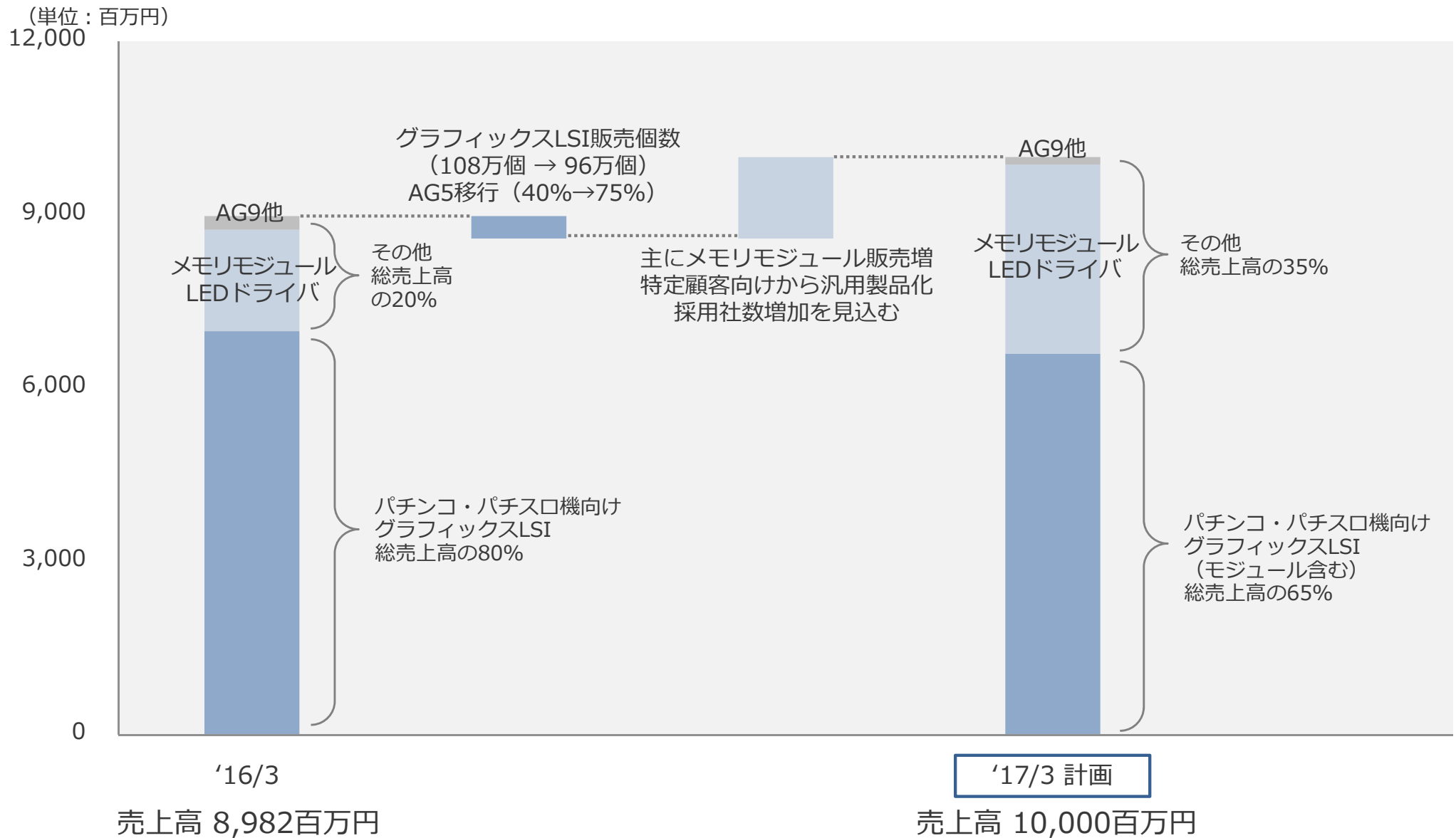
市場規模	290万台		250万台			
リユースの影響	約26%		約34%			
G-LSI个数	108万個		96万個			

※ 2016年3月末受注残：1,896百万円

※ 市場規模（パチンコ・パチスロ機の年間販売台数）、リユースの影響は当社分析による推定値です。

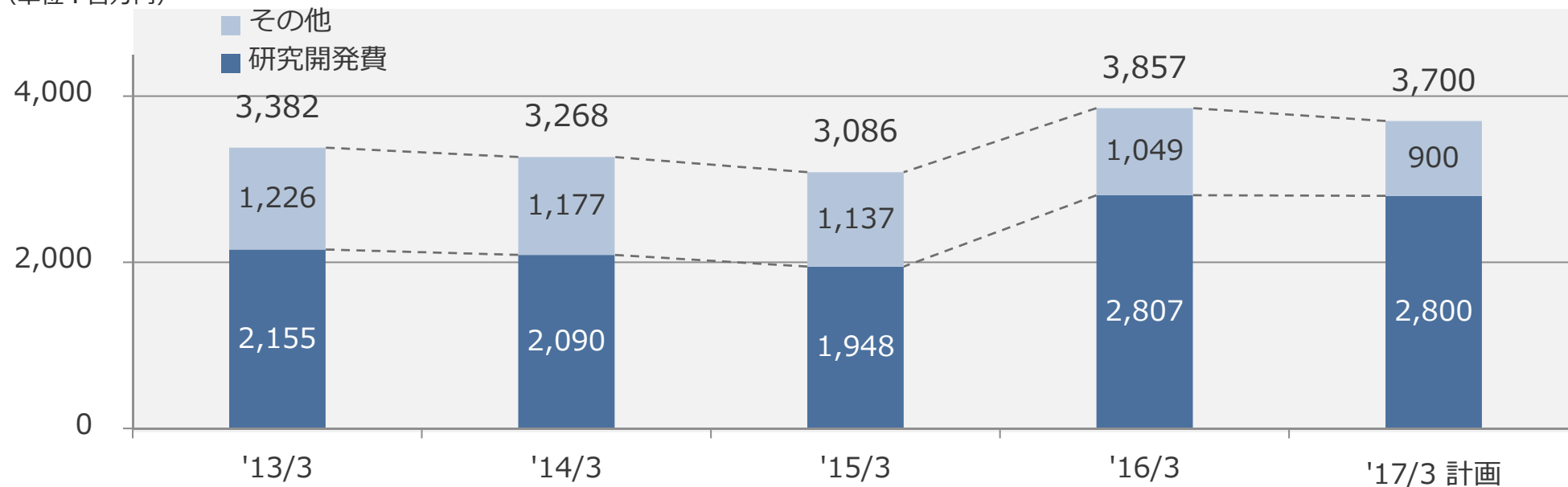
※ G-LSIはパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIを意味する。

売上高 10,000百万円（対実績比 1,017百万円増）



販売費及び一般管理費の推移（過去5年間）

(単位：百万円)

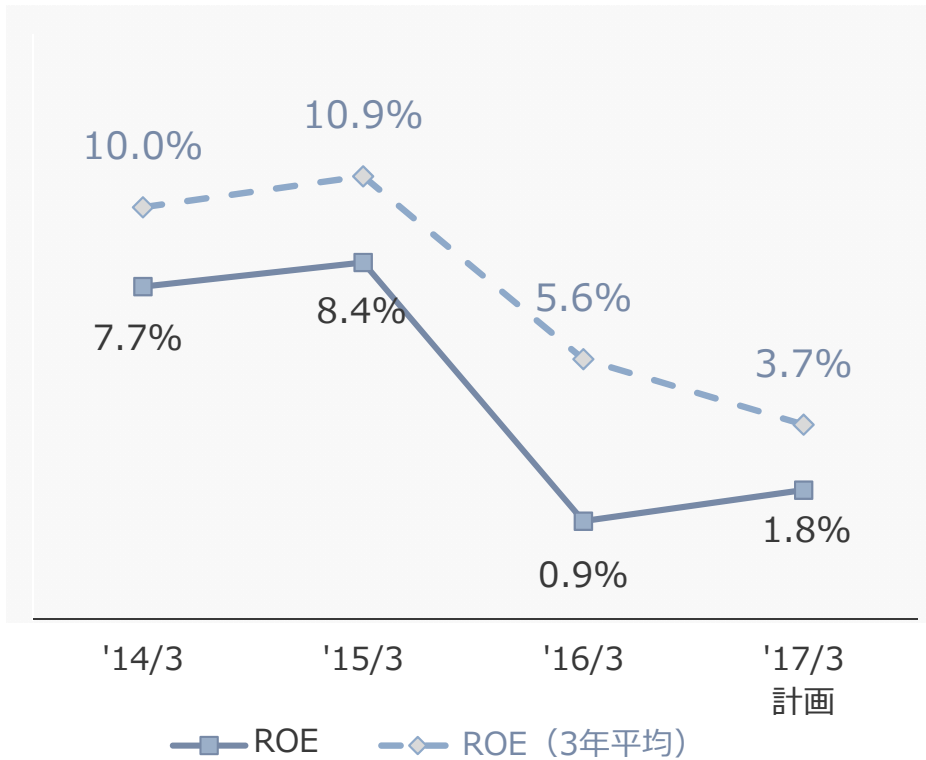


'16/3期以降の研究開発費の増加要因

- 次世代主力製品AG6の開発スタート
 - 先端プロセスの採用によりコスト負担大
- 業績目標に向けた積極的な開発投資
 - パチンコ・パチスロ機向け統合開発環境
 - 演出周辺製品等の新製品開発

経営指標

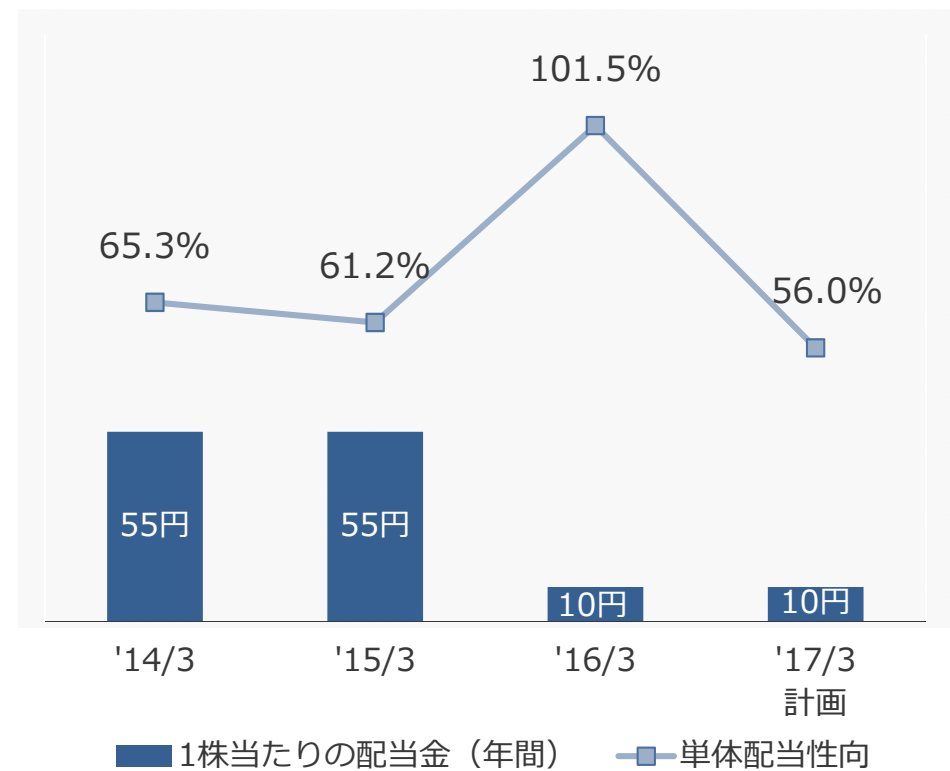
企業価値向上を意識しROEを経営指標に設定
3年平均10%を指標に事業展開



'16/3, '17/3は積極的な研究開発投資によりROEは低迷
'16/3に資本効率向上を企図した自己株取得(20億円)を実施

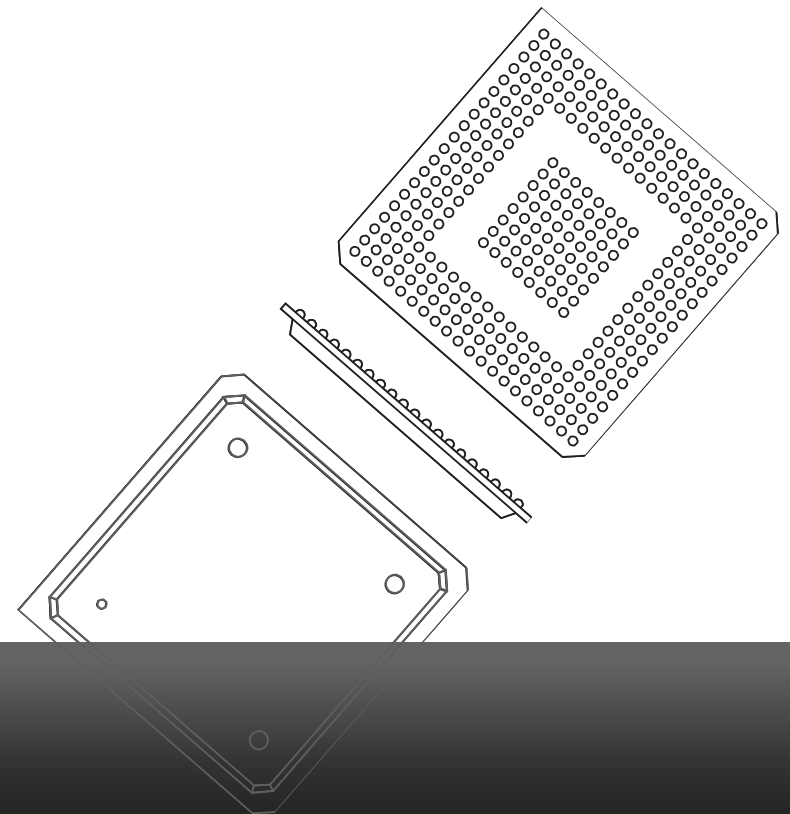
配当政策

原則として単体配当性向50%
減配になる場合は従前の配当水準を考慮

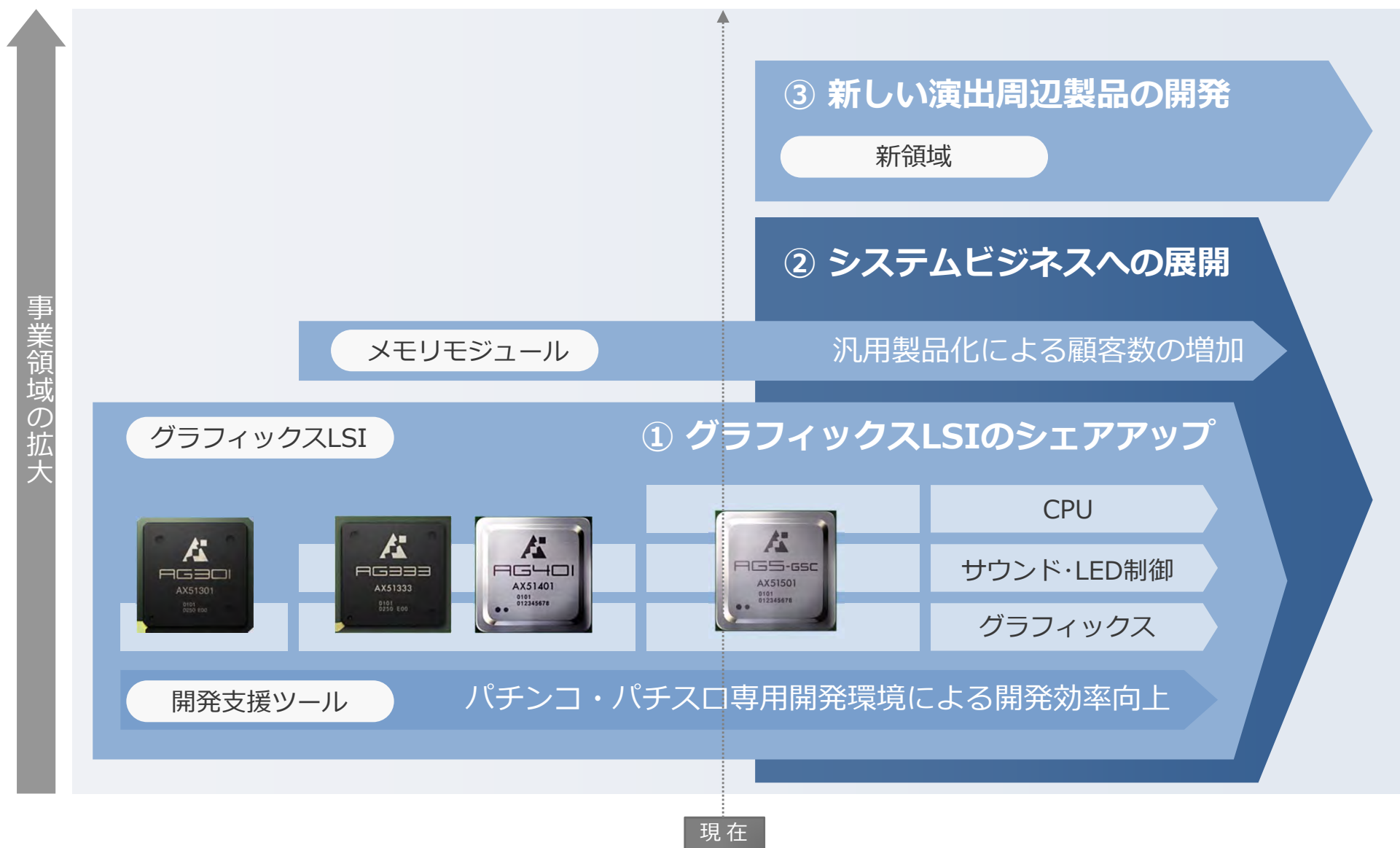


'16/3の期末配当は1株当たり5円 (年間10円)
'17/3の年間配当は1株当たり10円を計画 (期末10円)

3. 2019年3月期の業績目標(2014年4月公表)と基本方針



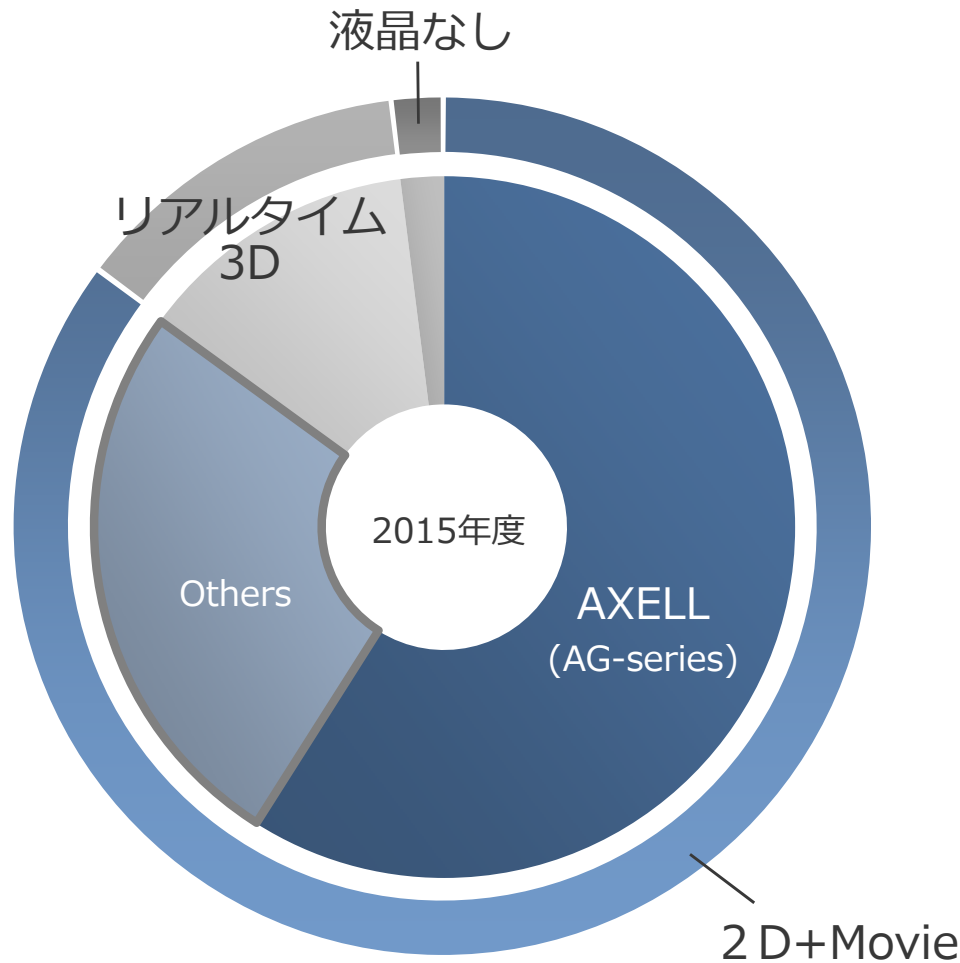
売上高180億円 ROE15%が2019年3月期の業績目標
パチンコ・パチスロ機市場の深耕拡大で中長期的な成長を目指す



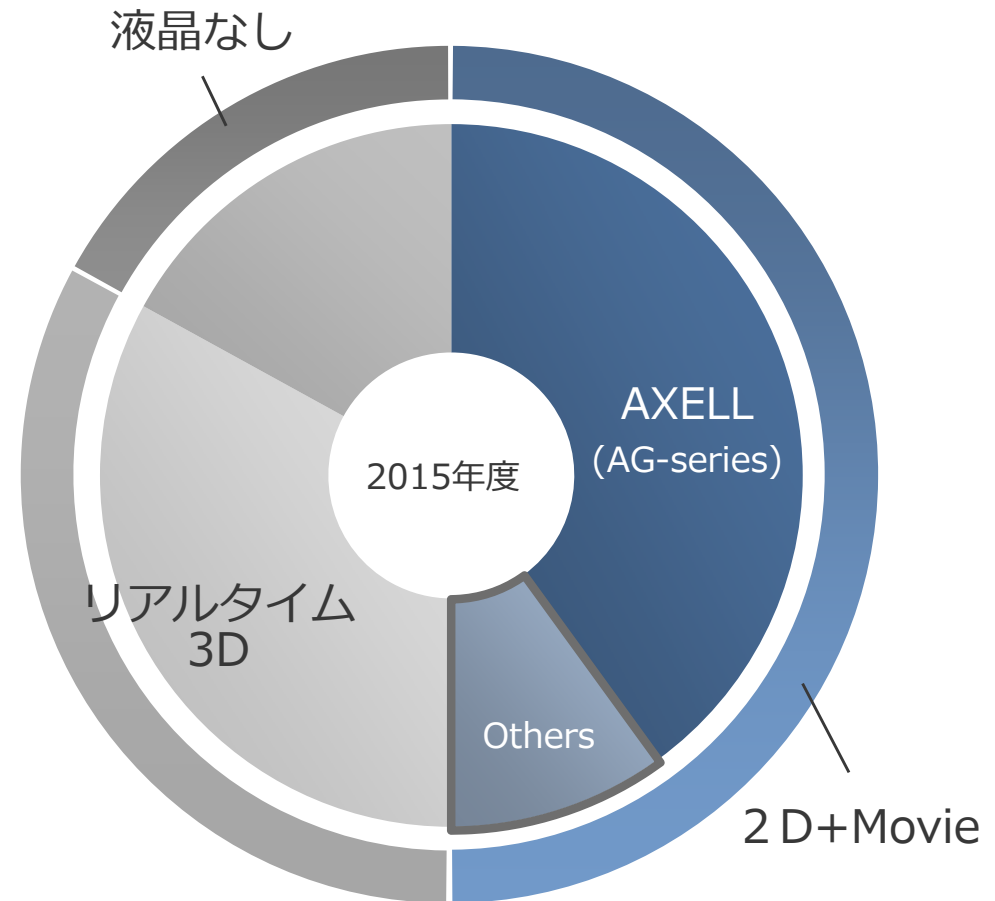
当面のターゲットは「2D+Movie」方式

AG6の投入で2019年3月期のシェア**65%以上**が目標（2016/3現在50%～）

パチンコ機向け



パチスロ機向け



※上記シェアは当社分析です。

パチンコ・パチスロ専用開発環境 (DUKE) の提供

パチンコ・パチスロ機のコンテンツ開発に特化、
業界のスタンダードツール を目指し、顧客の囲い込みでシェアアップを目指す



※開発画面イメージ

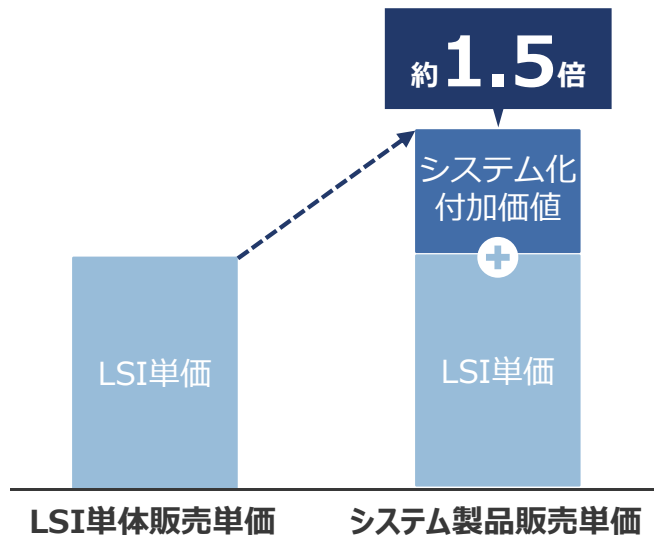
DUKEの特徴

- 顧客の開発負荷を大幅に低減
- 静止画やレイヤなど業界独特な映像制作手法をサポート
- 企画立案からデバッグまでシームレスに対応
- 映像・音声・LEDランプの連動開発等



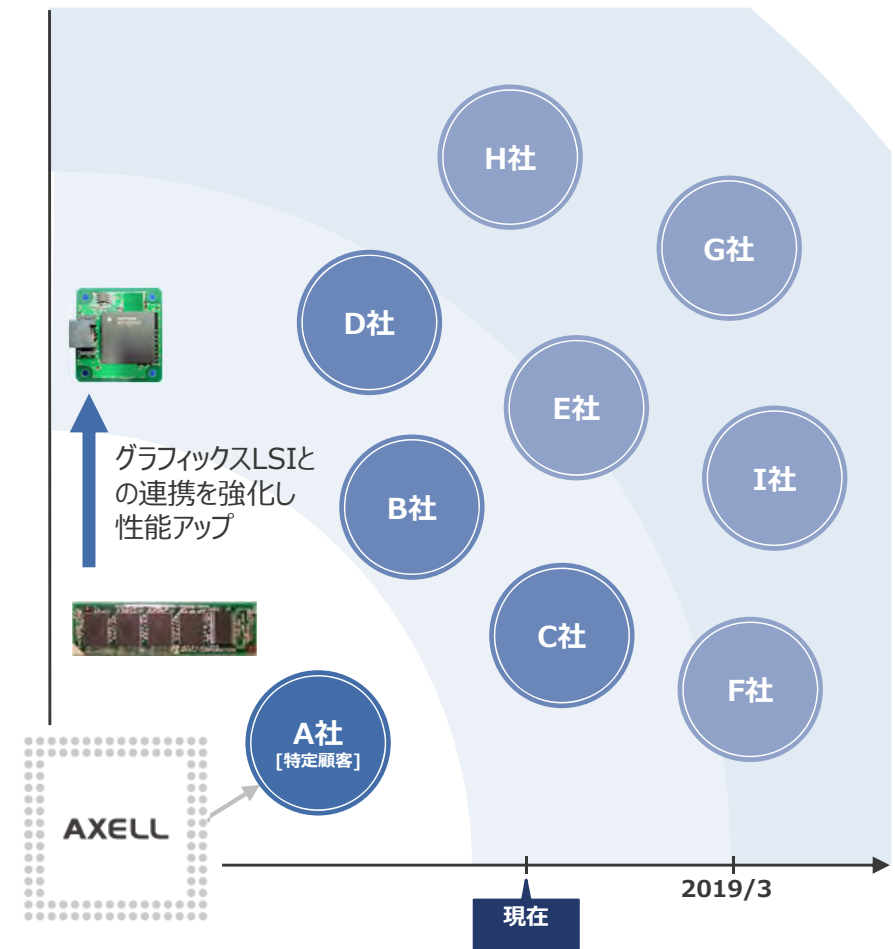
1. グラフィックスLSIのモジュール化

グラフィックスLSIを中核製品としたシステム製品の販売で **販売単価の上昇** を実現



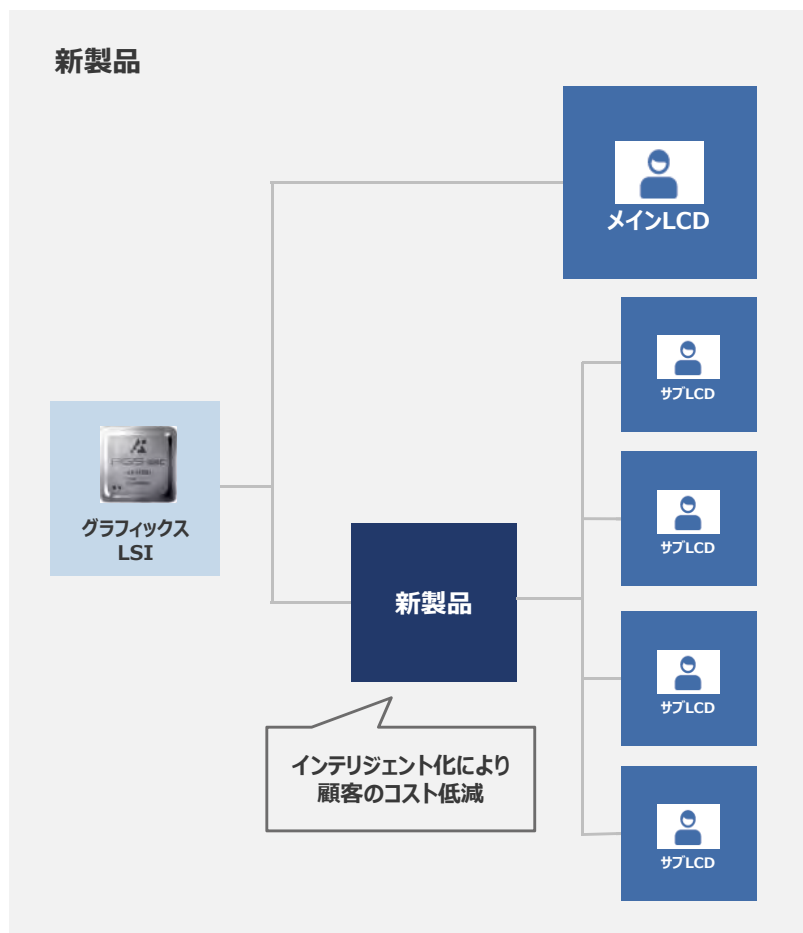
2. メモリモジュール製品の拡販

特定顧客に販売していたメモリモジュールを差別化を図って汎用製品化。**顧客数の増加**を目指す。



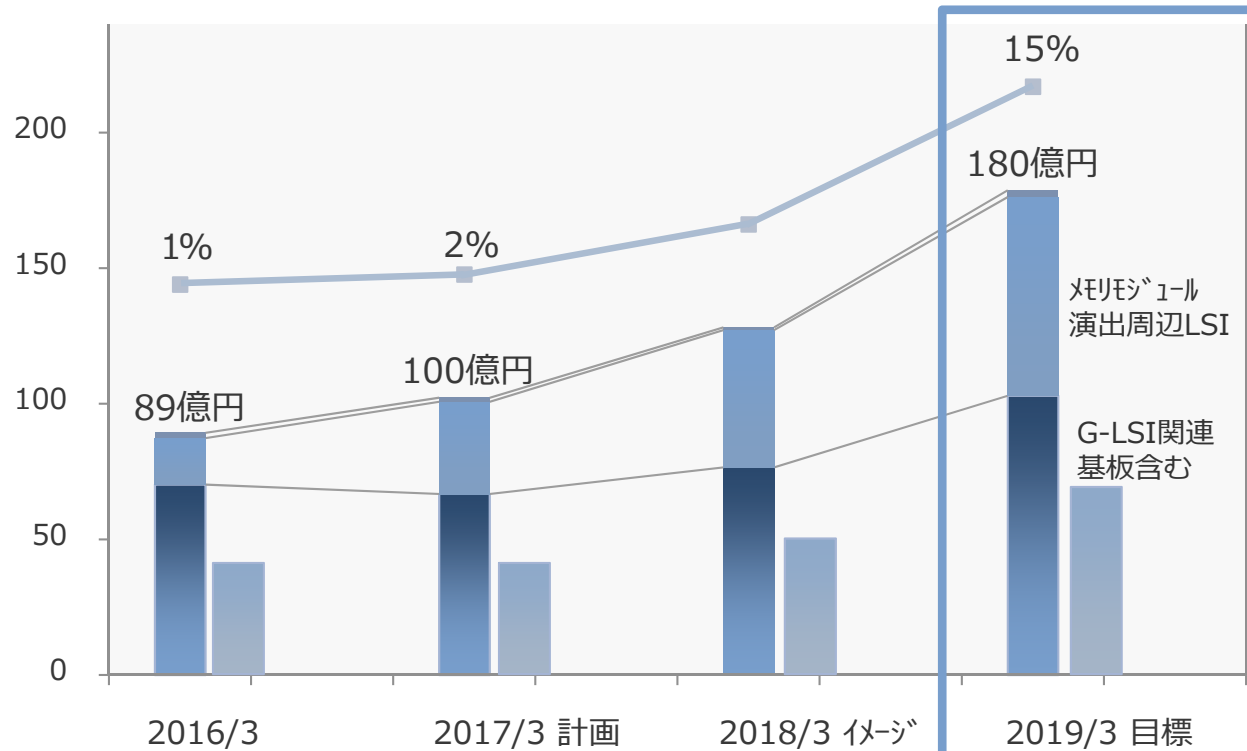
開発プロジェクト例

近年増加している多画面機種への対応を
低コスト で可能にする新製品の開発



2019年3月期の業績目標は維持

売上高 **180億円**、ROE **15%超** が3か年の業績目標



上記の前提

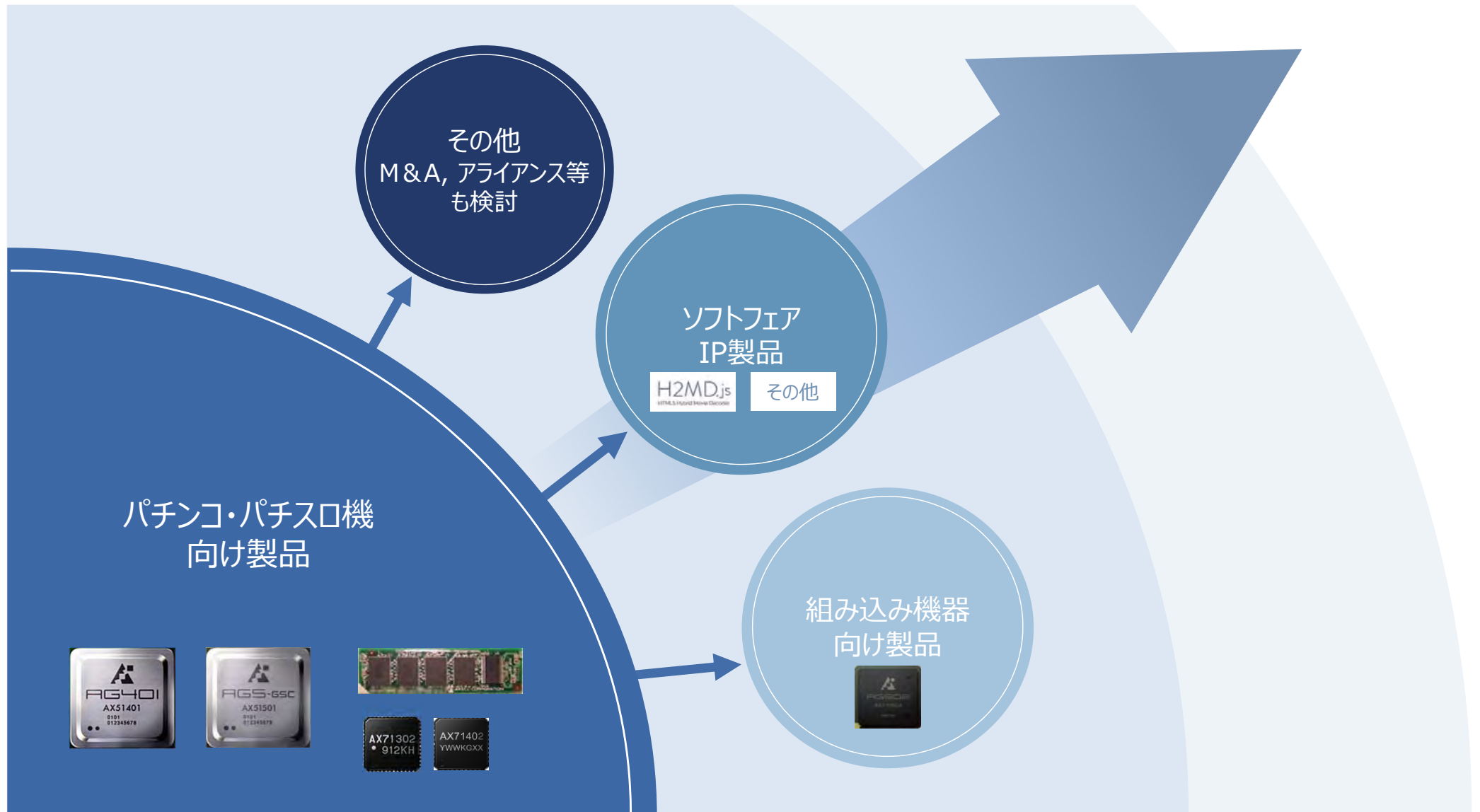
前提	2016/3	2017/3 計画	2018/3 イメージ	2019/3 目標
市場規模	290万台	250万台	265万台	290万台
リユース率	26%	34%	35%	37%

G-LSI関連の前提

前提	2016/3	2017/3 計画	2018/3 イメージ	2019/3 目標
G-LSI販売	108万個	96万個	100万個	120万個
シェア	51%	58%	59%	66%
基板比率	0%	5%	15%	25%

	2016/3 実績	2019/3 目標
売上高	89億円	180億円
売上総利益	41億円	70億円
販管費 (研究開発費)	38億円 (28億円)	40億円 (30億円)
営業利益	2.4億円	30億円
純利益	1.1億円	21億円
EPS	10円	190円
ROE	0.9%	15%
DPS	10円	95円

パチンコ・パチスロ機向け製品で培ってきた技術・ノウハウを他製品にも展開
パチンコ・パチスロ機以外の製品で **+αの成長** を目指す



ソフトウェアIPビジネス を推進

WEBブラウザ上でこれまでになかった映像表現が可能に

PC / スマフォ向けソフトウェアムービーコーデック「H2MD」





×



ザインエレクトロニクス株式会社（JQ：6769）との業務提携に合意

■ 業務提携の目的

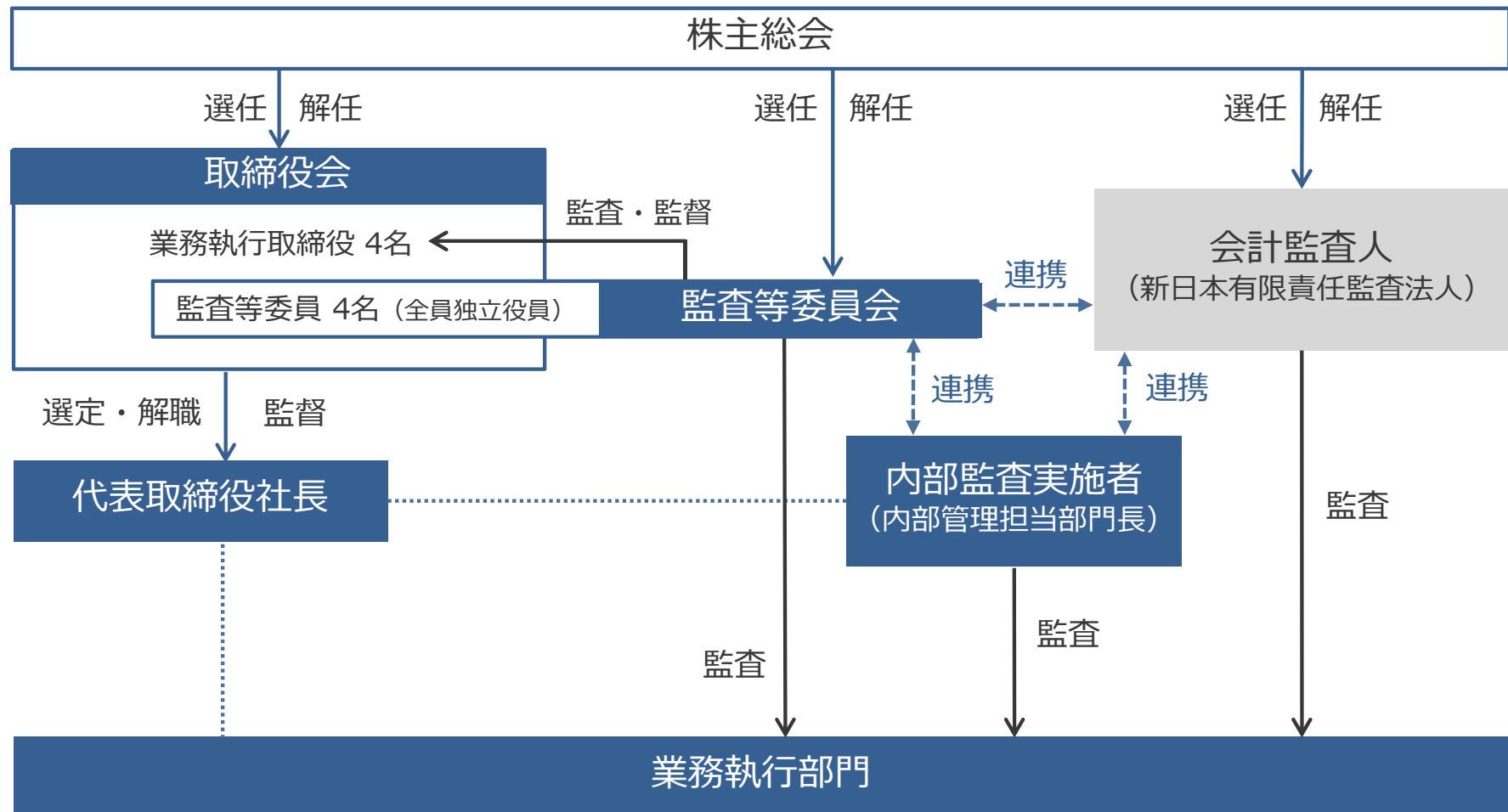
- 両社の事業領域・技術領域は補完関係にあり、両社の提携により新たな付加価値を提供
 - 小規模なアナログLSIから大規模なSoC、更には両製品を組み合わせたシステムソリューションまで一気通貫の開発力で付加価値を創出

■ 業務提携の主な内容

- パチンコ・パチスロ機市場
 - デジタル・アナログLSI製品を相互の保有技術につき協議検討の上開発し、顧客向けトータルソリューションを共同で企画・提案
- 事務機器市場
 - システムLSIの共同開発を検討し、ザインの高速インターフェースLSI製品、アナログフロントエンドLSI製品、表示制御用LSI製品と併せて顧客に対して企画・提案

取締役会の監査・監督機能強化、
業務執行決定権限の取締役への委任による意思決定及び業務執行の迅速化・効率化

監査等委員会設置会社移行後のガバナンス体制図



※2016年6月18日開催予定の株主総会での承認が条件

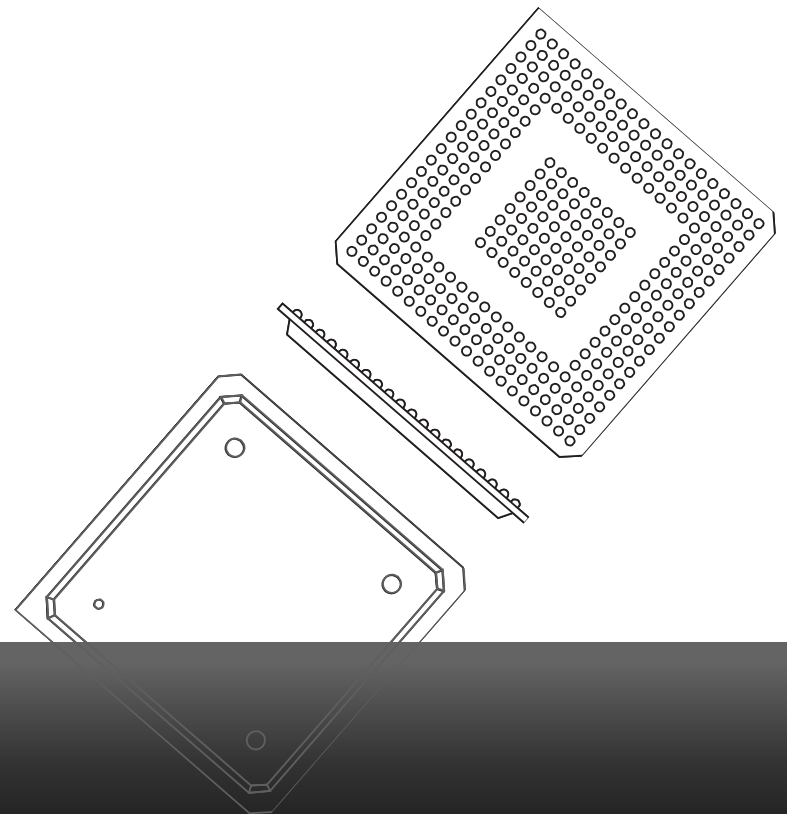
監査等委員会設置会社移行後の経営体制

役職	氏名	分掌等
代表取締役社長	松浦 一教	取締役会 議長
代表取締役副社長	斉藤 昭宏	営業グループゼネラルマネージャー
取締役	千代 進弘	管理グループゼネラルマネージャー
取締役	蟹江 幸司	技術グループゼネラルマネージャー
取締役（社外）	吉田 良樹	監査等委員（常勤）、独立役員
取締役（社外）	鈴木 眞巨	監査等委員、独立役員
取締役（社外）	三村 勝也	監査等委員、独立役員
取締役（社外）	五十島 滋夫	監査等委員、独立役員

※新たな経営体制では取締役会の構成メンバーのうち、半数を独立社外取締役とすることで、取締役会の監督機能を強化し、経営の健全性、透明性、効率性を高めます。

※佐々木譲、市原澄彦、柴田高幸は顧問に就任する予定です。

4. ご参考



(単位：百万円)

	'16/3 当初計画	売上比	'16/3 3.15 修正	売上比	'16/3 実績	売上比
売上高	11,000	100%	8,980	100%	8,982	100%
売上原価	6,500	59%	4,870	54%	4,880	54%
売上総利益	4,500	41%	4,110	46%	4,101	46%
販管費 (研究開発費)	4,260 (3,250)	39% (30%)	3,880 (2,850)	43% (32%)	3,857 (2,807)	43% (31%)
営業利益	240	2%	230	3%	244	3%
経常利益	240	2%	210	2%	220	2%
当期純利益	165	2%	110	1%	113	1%

市場分析

市場規模	270万台		290万台		290万台	
リユースの影響	約25%		約26%		約26%	
G-LSI個数	123万個		108万個		108万個	

※ 市場規模（パチンコ・パチスロ機の年間販売台数）、リユースの影響は当社分析による推定値です。

※ G-LSIはパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIを意味する。

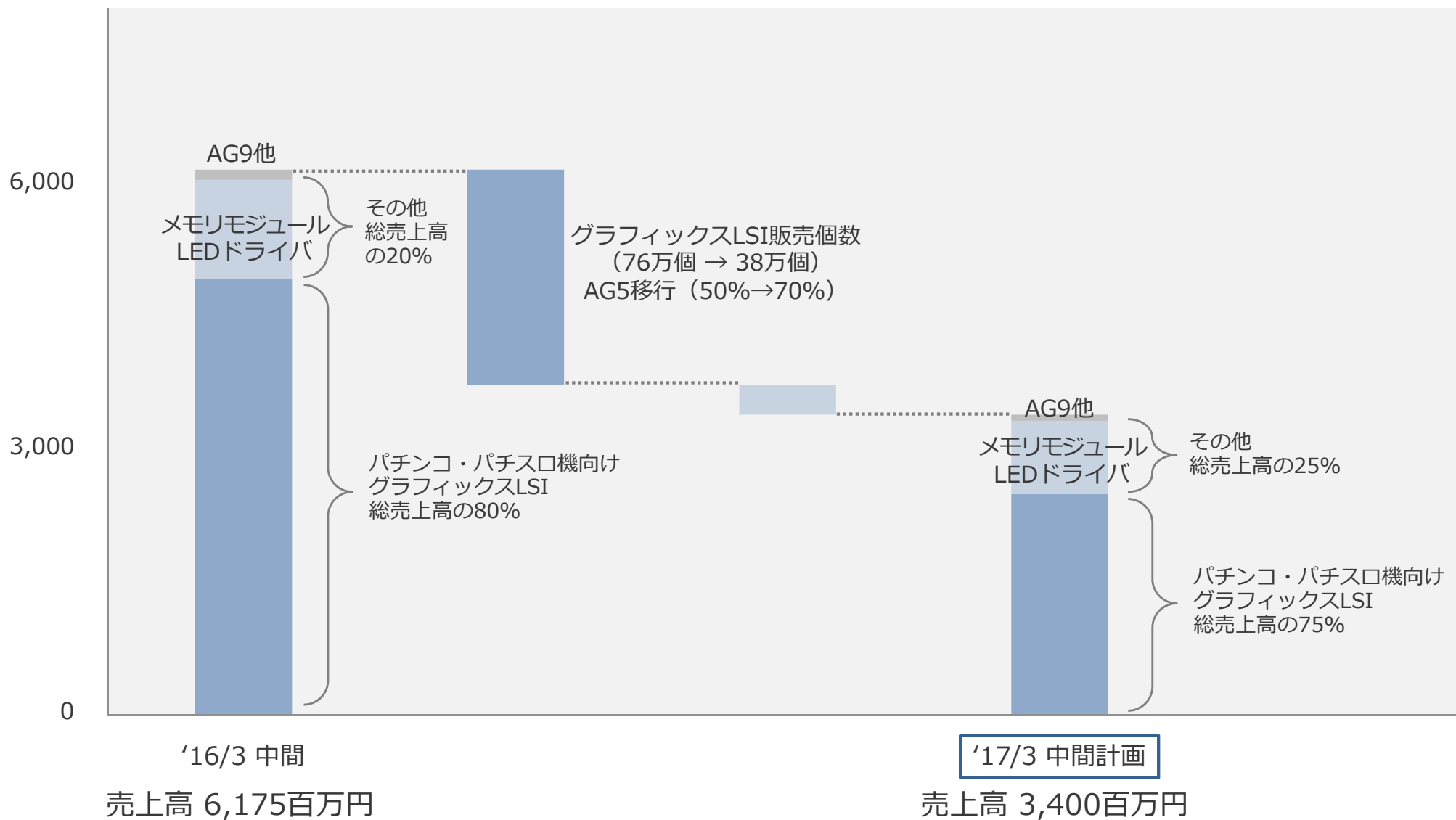
（単位：百万円）

	'16/3 中間 実績	売上比	'17/3 中間 計画	売上比	増減額	増減率
売上高	6,175	100%	3,400	100%	△2,775	△45%
売上原価	3,300	53%	1,900	56%	△1,400	△42%
売上総利益	2,875	47%	1,500	44%	△1,375	△48%
販管費 (研究開発費)	2,103 (1,581)	34% (26%)	1,950 (1,450)	57% (43%)	△153 (△131)	△7% (△8%)
営業利益	771	12%	△450	△13%	△1,221	△158%
経常利益	750	12%	△450	△13%	△1,200	△160%
中間純利益	519	8%	△450	△13%	△969	△187%

※ 2016年3月末受注残：1,896百万円

売上高 3,400百万円（対実績比 2,775百万円減）

（単位：百万円）



- 取得決議日 : 2015年4月24日
- 取得期間 : 2015年5月1日～9月24日
- 取得金額 : 20億円
- 取得株数 : 1,214,400 ※発行済株式総数の9.8%
- 取得方法 : 信託方式による市場買付
- 取得目的 : 資本効率の向上



※ 取得した自己株式及び単元未満株式の買取請求により取得した自己株式は全数消却を実施

- 消却決議日 : 2015年10月15日
- 消却株数 : 1,214,503株 ※発行済株式総数の9.8%
- 消却日 : 2015年11月2日



本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。